



実弾演習やめよ！

高島市の陸上自衛隊あいはの演習場で起こった迫撃砲弾の場外着弾事件(11月14日)で、実弾演習中止を求める集会が12月8日に高島市内で行われ、県内外から約350人が参加。集会後デモ行進しました。

民意無視の採決強行

臨時国会
閉

8日午前4時9分。多くの国民が寝入っている隙に、安倍政権は、外国人労働者の受け入れを拡大する改定出入国管理法などの採決を強行しました。審議すればするほど問題点が噴出し、国民の不安や懸念が広がる中、まともな説明もできない安倍政権は、審議の前提となる資料も出さず議論から逃げ続けながら、数の力で採決強行を連発しました。浜を企業の食い物にする漁業法改悪、民営化で安全・安心な水道事業を危険にさらす水道法改悪など。どの法案もまともな審議なしの採決強行です。言論の府・良識の府である国会を愚弄するものであり、戦後の憲政史上例のない異常な事態といわなければなりません。

しかし、数を力に国会を愚弄する暴挙を繰り返す安倍政権は、決して、強さのあらわれではなく、逆に弱さと破たんのあらわれでもあります。党内からも支持母体からも、国民からも矛盾と批判が広がっており、一斉地方選や参院選で、必ず主権者・国民の厳しい審判を受けることでしよう。

政治を国民の手に取り戻すために、市民と野党の共闘を一層広げ、一斉地方選や参院選で勝利し、安倍政権に痛打を与えるために力をあわせましょう。

12月議会 一般質問概要

コミバス無料制度、75才に拡充「前向きに検討」 岡田議員の一般質問に市長が答弁

12月7日から12日まで20人の議員による一般質問が行われました。10日に岡田・山岡議員、11日に小西議員が市民の切実な願いの実現、市政の問題点を質しました。一般質問の詳細は議会終了後に掲載しますが、今号では質問要旨を紹介します。12月定例会は21日が最終日となり、議案の採決、討論が行われます。傍聴にお越しください。

岡田重美議員

山岡光広議員

小西喜代次議員

昨年の4月から開始された介護保険の総合事業について、利用者本位のサービス提供がされているか問いました。本人・家族の思いや状態を十分把握し支援しているとのことでしたが、総合事業の問題点も示しながら、介護認定が妨げられることのないよう、また必要なサービスは継続して使えるよう丁寧な対応を求めました。

新年度予算に関し、「歳入に見合った歳出」だけを見ると削ることしか視野に入らないことから、市民の願いに寄り添い、市民のいのちと暮らしを守る施策を重点におくべきだとして、新年度予算編成にあたっての基本、重点事業とそのポイントについて市長の所見を求めました。

県立信楽窯業技術試験場移転先の「陶芸の森」前の私有地を市が先行取得し、県が新試験場建設後、跡地と交換することについて、「県の施設になぜ市が土地を買うのか」との疑問に答えられないまま、見切り発車するのは問題であり、公金による取得である以上、議会がその政策形成過程、公金のあり方をチェックするのは当然のことです。こうした疑問に答えられないまま、市が試験場移転先の土地取得の方針が示したことに對し、これまでの経過を明らかにすることを求めましたが、疑問に對する答弁ではありませんでした。

現在80歳以上のコミュニティバスの無料乗車券を75歳以上へ拡充すべきと市長に迫りました。市長からは、高齢者の経済的負担の軽減、外出支援、公共交通の利用促進などの視点から「前向き」に検討との回答が得られました。

影響、第二次総合計画実施計画で示された187項目の事業の新年度予算で検討すべき点、今回の予算編成での「総務部査定」の基準、部局ごとの枠配分と重点事業との関係を質しました。

また、後期高齢者の「健康診査」受診の取り組みの抜本的見直し、特別養護老人ホームの拡充、災害に強いまちづくりへの対策を求めました。

図書館の充実については、今後の図書館の在り方を検討とのこと。図書館職員の補充や、山内・鮎河地域にも移動図書館の巡回をすべきと求めました。

また、後期高齢者の「健康診査」受診の取り組みの抜本的見直し、特別養護老人ホームの拡充、災害に強いまちづくりへの対策を求めました。

この他、新名神甲南PAからインターチェンジへの流出路の現状と課題を質しました。

日本共産党 甲賀市議員団ニュース

2018年 12月 16日 第245号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
Tel 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696